

様式C（1）

厚生労働科学研究費補助金交付申請書

平成 年 第 年 月 日 号

厚生労働大臣 殿

所在地 千
フリガナ
申請者 法人名 印
フリガナ
代表者名(職名) () 職印

平成 年度厚生労働科学研究費補助金（ 推進事業）の交付申請について

標記について、次により国庫補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請する。

- 1. 国庫補助申請額 : 金 円也
- 2. 事業名 :
- 3. 事業計画書 (別紙（1）のとおり)
- 4. 経費所要額調書 (別紙（2）のとおり)
- 5. 収入支出予算書の抄本
- 6. 定款又は寄付行為の写

作成上の留意事項

- 1. 手書きの場合は、楷書体で作成すること。
- 2. 金額等は、アラビア数字で記入すること
- 3. 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。

別紙（１）

平成〇〇年度	外国人研究者招へい	事業計画書
	外国への日本人研究者派遣	
	若手研究者育成活用	
	〇 〇 〇 〇	
	〇 〇 〇 〇	

（作成上の留意事項）

- 1．当該年度の事業実施計画を事業別に具体的かつ詳細に記入するとともに、推進事業実施規定等を添付すること。
- 2．その他
 - (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

別紙（２）

書 調 額 要 所 費 經

(1) 総事業費		(2) 寄付金その他の収入額		(3) 差引額((1)-(2))	
円		円		円	
(4) 補助金対象経費支出 予定額	(5) 交 付 基 準 額	(6) 選 定 額 □(4)と(5)を比較 □して少ない方の額 □		(7) 補 助 金 所 要 額 □(3)と(6)を比較 □して少ない方の額□ (千円未満の端数がある場合は、 その端数は切り捨てる。)	
円	円	円		円	
(8)補助対象経費支出予定額内訳					
① 経費区分	金 額	① 経費区分	金 額	① 経費区分	金 額
	(円)		(円)		(円)
合 計					

機械器具の内訳（50万円以上の機械器具を購入する場合に各欄に記入すること。なお、該当がない場合には「機械器具名」欄に「該当なし」と記入すること。）

機 械 器 具 名	数 量	単 価	規 格	納 入 予 定 時 期	保 管 場 所

記入例

(1) 総事業費		(2) 寄付金その他の収入額		(3) 差引額((1)-(2))	
円		円		円	
(4) 補助金対象経費支出 予定額	(5) 交 付 基 準 額	(6) 選 定 額 □(4)と(5)を比較 □して少ない方の額 □		(7) 補 助 金 所 要 額 □(3)と(6)を比較□ □して少ない方の額□ (千円未満の端数がある場合は、 その端数は切り捨てる。)	
円	円	円		円	
(8)補助対象経費支出予定額内訳					
① 経費区分	金 額	① 経費区分	金 額	① 経費区分	金 額
1. 外国人研究者招 へい事業費	(円) ○○○○	2. 外国への日本人 研究者派遣事業費	(円) ○○○○	3. 若手研究者育成 活用事業費	(円) ○○○○
設備備品費	○○○	消 耗 品 費	○○○	設備備品費	○○○
消 耗 品 費	○○○	人 件 費	○○○	消 耗 品 費	○○○
人 件 費	○○○	謝 金	○○○	人 件 費	○○○
謝 金	○○○	旅 費	○○○	謝 金	○○○
旅 費	○○○	研 究 費	○○○	旅 費	○○○
そ の 他	○○○	設備備品費	○○	そ の 他	○○○
		消 耗 品 費	○○		
		人 件 費	○○		
		謝 金	○○		
		旅 費	○○		
		そ の 他	○○		
		そ の 他	○○○		
合 計 (1+2+3)					

機械器具の内訳（５０万円以上の機械器具を購入する場合に各欄に記入すること。なお、該当がない場合には「機械器具名」欄に「該当なし」と記入すること。）

機 械 器 具 名	数 量	単 価	規 格	納 入 予 定 時 期	保 管 場 所
〇〇〇〇〇〇	〇	〇〇〇	〇〇〇	平成 年 月 日	〇〇法人〇〇部〇〇課

- 作成上の留意事項
- １．手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - ２．金額等は、アラビア数字で記入すること。
 - ３．日本工業規格Ａ列４番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。